

令和元年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<可茂地区> 八百津中学校・八百津東部中学校・八百津高等学校

1 連携型中高一貫教育の目標とその達成に向けた具体的な取組

(1) 連携型中高一貫教育の目標

「6年間を通して育てる・地域から学び、地域に貢献する人材の育成」～こつこつと学習に取り組み、まじめに生活を送る態度を育てる～

1. さらなる連携の推進
2. 確かな学力をつける
3. 生きる力を育む

(2) 連携型中高一貫教育の令和元年度の重点

- ① 発達段階に応じたキャリア教育を進めるとともに、中学校2年生の職業体験と高校1年生のインターンシップを、高校でのデュアルシステムに繋げる工夫をさらに進める。
- ② チャレンジテストの充実を図るとともに、継続的な取組の成果を実感させる工夫を進める。
- ③ 杉原千畝学習を継続し、12年間に及ぶ人道学習を継続発展させる。

2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果	課題
さらなる連携	キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・中高ともに近隣地域での職場体験活動を行い職業観や勤労観を身につけた。 ・2年生の希望者20名が毎週木曜日にデュアル実習を行った。 ・従来中学生体験入学の日に連携中学校2校からの参加生徒に対して「連携中学校デュアルシステム説明会」実施していたが、今年度は要望もあり参加中学生全員に実施した。連携中学からは23名が参加した。 ・デュアルシステム成果発表会に八百津東部中学校2年生10名が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デュアルシステムの成果発表会の内容等、連携中学・地域へと効果的に広める方法の検証。   <p>デュアル開講式 デュアル実習風景</p>
	危機管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年から実施している高校のMSLと八百津中学校のMSJとでの「合同あいさつ運動」を1学期1回、3学期1回実施し交通安全の啓発に努めることができた。 ・高校生が地元の防災リーダーとして貢献できるように「八百津町防災リーダー養成講座」に参加し「防災士」の資格を取得した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校MSLと中学校MSJの交流機会の増加。 ・防災情報の発信  <p>中学生高校生 合同挨拶運動</p>
	連携型入試の取組推進	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジテストの継続的な取組、高校側による定期的なチェックと指導を行うことができた。 ・実力養成セミナーを2中学校それぞれを会場として実施できた。 ・3学期の出前授業では、一昨年度から始めた東部中学校への「面接講座」を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジテストの重要性を生徒・職員への周知徹底。 ・出前授業での「面接講座」の継続と、その方法の検証。   <p>チャレンジファイル チェック（八百津中） 面接講座 （八百津東部中）</p>

	<p>相互理解の 推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体験入学、保護者見学会等で八高生（デュアル体験者など）による語りや交流の場面を設定した。 昨年度と同様に、夏の高校野球の試合に、八百津中学校の吹奏楽部が応援に駆けつけ、中高連携の応援ができた。 八百津東部中学校1年生の研修時に八百津高校ボート部の東部中出身部員によるボート体験を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的で分かりやすい発信方法を模索する。（進路説明会、PTA見学会、校報、HP、ケーブルテレビ、新聞報道等） 今年度までの部活動の連携を継続するとともに新しい連携を模索する。  <p>中高連携応援 中高交流会</p>
<p>確 か な 学 力</p>	<p>交流授業の 充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高校の授業公開により高校生のつまづきを把握することで、中学段階で何に留意すべきか等について共通認識できた。 東部中への出前授業の回数を増やすことで生徒は高校での学習に興味を高めていた。 T Tによる交流授業は生徒の実態が把握しやすく教える側にも教えられる側にも効果がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の能動的な学びを引き出すT T指導の在り方を模索する。  <p>出前授業風景 交流授業風景</p>
	<p>6年間を見通 した指導の充 実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中高連携学力養成セミナーを夏休みに3日間実施。本年度は中体連の大会と日程が重なったものの2中学校を会場に実施し計23名の参加があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 実力養成セミナーの2中学校別の3日間開催の継続実施。  <p>実力養成セミナー（八百津中・八百津東部中）</p>
	<p>チャレンジ テストの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2中学校のPTA総会でチャレンジテストの重要性について高校職員が説明し、日々の学習の積み重ねの大切さを訴えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジテストの重要性について継続して中学生の保護者に伝えていく。
<p>生 き る 力</p>	<p>地域や異校種 間連携の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小中高が連携した地域清掃活動（クリーン大作戦）を実施し、地域社会に役立つ実感を味わい、コミュニケーション能力を身につけることができた。（167名参加） 連携中学校以外にも地域の小学生とふれあう機会を設けた。高校生の優しい気持ちを引き出せた。 長期休業中のリトルティーチャーや土曜学習ボランティア（高校生による小学生への学習支援）など、継続して取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> より多くの生徒が参加できるように日程調整、内容精選をはかる。 ボランティア活動のよさを語る生徒を増やし参加の輪を広げる。  <p>土曜学習ボランティア クリーン大作戦</p>
	<p>人道教育の 強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町内の中学生16名がリトアニアを訪問し、杉原千畝の足跡をたどった。 早稲田大学（千畝の在籍大学）グリーンクラブが東部中学校を訪れ交流を深めた。また、八百津中学校が研修先でイスラエル大使館を見学し杉原千畝氏の業績を確認した。 連携中学校出身者にとって杉原千畝は身近な存在である。しかし他の中学校出身者も多いので八百津高校1年生全員に対して杉原千畝についての学習をイスラエル出身の方を講師に、また全生徒にリトアニア出身の方を講師に招き人道教育を行った。 人道の丘で実施されたリトアニア大統領来町歓迎式典に小中高が連携して参加し、杉原千畝氏の功績を再確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 人道教育での学びを日常の場面に落とし込める実践力の育成。 地域や行政との日常的な連携の維持・強化。 杉原千畝学習を通じての12年間に及ぶ人道学習の継続。  <p>人道教育での講演 風景 リトアニア大統領を 出迎える小中高の各代表 児童生徒</p>

(様式5)